

Vol. 879

富山 経協

謹
賀
新
年



富山土人形「辰」

CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
 - 会長
 - 富山県知事
 - 日本経済団体連合会会長
 - 副会長
- 9 新春アンケート

2024

1



新年のご挨拶

一般社団法人 富山県経営者協会

会長

山下 清胤

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さんにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は当協会の事業活動に対し格別のご配慮を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5月から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行となり、政府の対策本部や感染対策の「基本的対処方針」も廃止され、3年余り続いてきた国のコロナ対策は大きな節目を迎えました。これにより、多方面の制約が解除され、社会は本格的な「アフターコロナ」が幕を開けた年となりました。

また、WBC侍ジャパンの全勝優勝や、FIBAバスケットボールワールドカップ2023のアジア最上位でのパリ2024出場枠獲得、ラグビーワールドカップ2023フランス大会の健闘などは、我々に明るい話題、そして勇気と感動を与えてくれた年でもありました。

一方、足元では、不安定な国際情勢や円安基調などを背景に調達リスクや物価動向への対応、上昇する労務費を含め、多くの企業が、厳しい経営環境にさらされた1年でした。

こういったなか、企業の皆さん方が事業環境の変化に対応するための自己変革に挑戦された結果、事業を継続し、雇用を守り、地域社会を支えていただいていることに、改めて敬意を表し、感謝を申し上げます。

現在、日本社会は大きな分岐点にあり、企業として経済成長を成し遂げながら社会的課題への取組み方も問われています。例えば社会的課題として、国内の急速な人口減少に伴う慢性的な労働力不足。これは富山県においても同様であります。特に県内においては若手女性の転出超過がクローズアップされており、企業の役割として県内企業の魅力を発信し、県内はもとより、県外からも富山の企業への就職機会を高め「選ばれる企業」になることが重要であると思います。

また、人材を企業の「資本」と捉え、その価値を最大限に高めていくことに投資し、中長期的な企業価値の向上に資する人づくりも「人的資本経営」の観点から急務であります。

本年も当協会のテーマである「企業と人」にフォーカスし、働くことで生み出す付加価値向上に向け、働き方の改革と人材の育成を会員各社との連携を図りつつ、富山県の発展のために尽力してまいります。

結びに、会員各社のご繁栄、皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

(三協立山株式会社 相談役)



年頭の辞

富山県知事 新田 八朗

明けましておめでとうございます。令和6年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

令和2年11月の知事就任以来、「県民目線」、「スピード重視」、「現場主義」を大切にした県政運営に努め、県民の皆様にお約束している8つの重点政策・88の具体策の実現に向けた施策や、令和4年2月に策定した富山県成長戦略を推進する各種施策に誠心誠意取り組んでまいりました。

この間、新型コロナの感染拡大をはじめ、記録的な大雪や豪雨などの自然災害、鳥インフルエンザの発生、ツキノワグマによる甚大な人身被害の発生など、県民の命や暮らしに関わる重大な事案に見舞われました。現在も、長引くエネルギー価格や物価の高騰により、県民生活や事業活動には大きな影響が生じています。とりわけ、就任当初から新型コロナの感染症法上の位置づけが五類に引き下げられた昨年の5月までの間は、感染拡大の防止と社会経済活動の両立という困難な課題に直面しましたが、適時適切に、必要な対策を盛り込んだ予算を編成するなど、スピード感を持って対応してまいりました。原油価格や物価の高騰によって影響を受ける県民生活や事業活動への迅速な支援にも努めてまいりました。

引き続き、県民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に、必要な対策に取り組んでまいります。

また、新しい富山のさらなる発展に向けて、成長戦略に基づき、関係人口の拡大やスタートアップ支援など、富山県で暮らす人も、訪れる人も幸せを実感できる「幸せ人口1000万 ウェルビーイング先進地域、富山」の実現のための取組みを着実に進めてまいりました。昨年公表した本県独自のウェルビーイング指標を政策形成プロセスに組み込む、世界的にも先進的な取組みにも挑戦しています。

本年も、県民の皆様とワンチームとなって、県民の皆様が希望に満ちた、笑顔があふれる富山県。ワクワクすることがたくさんある富山県。チャンスがあり、夢を叶えることができる富山県の実現に向けて一層努力してまいります。

新年にあたり、県民の皆様の県政に対するご理解とご協力をお願い申しあげますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。

— 経団連会長新年メッセージ —



官民連携でデフレから完全脱却し、 「成長と分配の好循環」を実現する

一般社団法人 日本経済団体連合会

会長 十倉 雅和

謹んで新年のお慶びを申し上げる。

コロナ禍を乗り越えた今、日本経済は、企業の強い設備投資マインド、継続的な賃金引上げのモメンタム、消費の拡大などに支えられ、長きにわたる低迷から脱する明るい上向きの力が生じている。2024年は官民が連携して経済のダイナミズムを取り戻し、30年来のデフレからの完全脱却を実現する歴史的な転換の年としたい。

カギとなるのは、生態系の崩壊や格差の拡大・固定化・再生産といった、我々が直面する深刻で複雑な社会課題の解決を通じた、持続的な経済成長の実現である。これまで経団連会長として、「サステイナブルな資本主義」の実践を目指し、企業自らが「成長と分配の好循環」をけん引すべく取り組んできた。引き続き、グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）、スタートアップ振興等を柱に、イノベーション創出、生産性向上、産業競争力強化を通じた力強い成長の実現を目指す。

分配の観点からは格差問題の解決に向けて、多くの人々が豊かさを実感し希望がかなえられるよう「分厚い中間層」の形成に取り組む。そのためには、「マクロ経済政策」「社会保障・税制」「労働政策」の3つの政策分野について、官民連携の下、全体感をもって一体的に取り組むことが肝要である。とりわけ現役世代の将来不安を払拭するために、公平・公正で安心な全世代型社会保障・税制の構築が急務である。構造的な賃金引上げの実現に向けて、30年ぶりとなる高水準を記録した昨年以上の熱量と決意で取り組んでいく。

世界に目を転じれば、国際情勢がますます混迷を深める中、わが国が果たすべき役割は大きい。経団連は民間経済外交を推進し、自由で開かれた国際経済秩序の再構築を働きかける。開幕まで500日を切った2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げている。コロナ禍を経験し、世界各地で紛争・戦争が続く今こそ、生命の尊さと連携の大切さをわが国から世界に発信すべく尽力してまいりたい。

今日ほど官と民の連携が求められる時代はない。経団連は政府と力を合わせて成長と分配の好循環の実現に取り組んでいく。会員の皆様のご理解と一層のご支援をお願い申し上げる。

新年のご挨拶



副会長

八十島 清吉



副会長

矢野 茂

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新年にあたり改めて昨年を振り返りますと、世界経済は、コロナ禍からの脱却が進んだことにより緩やかな回復が見られた一方、米中対立やロシアとウクライナの戦争等の地政学的リスクの高まりに加え、地球温暖化による激甚災害の発生が経済に与える影響が顕著となる等、先行き不透明な状況が続きました。

日本においても、昨年5月8日にコロナ感染症の5類への移行により社会・経済活動の制約が解消され、個人消費を中心に持ち直しが見られる等、総じて景気は緩やかに回復しました。

今後、日本がデフレの閉塞感から抜け出し持続的に成長できる経済へ移行するためには、ある程度の物価上昇とそれを上回る賃金上昇という好循環が必要であり、そのために企業は覚悟をもって構造改革による付加価値・企業価値の向上に取り組んでいかなければなりません。

このような背景を踏まえ、当会では、「企業は人なり」の観点から次年度のテーマを「人的資本経営による企業価値向上」として活動してまいります。

会員企業の皆様のご理解とご協力をお願いすると共に、皆様方の更なるご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

(株式会社タカギセイコー 取締役相談役)

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご健勝に新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、私が勤める建設業界、また運送業界において、改正労働基準法に基づく時間外労働の上限規制に係る経過措置の猶予期間が終了する重要な年であります。今後はこれらの業界でも新しい法の下での働き方が常識となることから、これを完全に定着させ遵守するため、DX等を活用し「働き方改革」をより一層進展する必要があります。一方で、3月に北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業が予定されており、観光産業の活性化や都市部からの交流人口の増加が見込める中、富山県の価値向上に向け様々なチャンスを活かせるよう、皆さんとともに努力していきたいと思います。

さて、今年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。甲辰の年は、「成功という芽が成長していく、姿を整えていく」と言われます。これまで富山県経済発展のため取り組んできたことが、より力強さを増していくことを期待しております。

結びに、富山県経営者協会の継続的なご発展と、会員企業の皆さまのご多幸とご活躍をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

(北陸電気工事株式会社 顧問)

新年のご挨拶



副会長
浅野 慎一



副会長
中西 誠

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は法律上の位置づけが昨年5月より、2類から5類感染症に移行し、3年余り続いた国からの各種規制が解除され、コロナ対策は大きな節目を迎えた。それにより、昨年末には海外からの訪日客が月別ではコロナ前水準を超える月もあり、増加傾向となっています。

欧米の金融引き締めで景気の減速が懸念される一方で、日本は新型コロナからの経済活動の再開やインバウンドの回復など、まだ先行きが期待できると見る投資家が増えており、株価も高い水準を保っています。また生成AIの活用がビジネスや教育に広がるなど、今後の私達の経済活動にも少なからず影響が出てきています。

一方昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻が継続しているだけでなく、イスラエル・パレスチナ戦争が勃発し、光熱費や燃料以外でも全体的な物価上昇が続いており、加えて人手不足による人件費高騰も値上げの要因となって、皆様の生活や経済活動に大きな影響を及ぼしていると思われます。

企業活動を続けて行く上で、今後も難しいかじ取りが求められておりますが、持続的な成長を継続する為にも多様な働き方を進めて活力ある企業へと成長し、地域社会への発展に貢献が出来ます様に会員の皆様と協力しながら取り組みたいと思っています。会員各位の相互連携を何卒お願い申し上げます。

最後になりましたが皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

(YKK株式会社 副社長黒部事業所長)

新年あけましておめでとうございます。富山経協の一員として、皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

富山県経営者協会は、1947年の設立から現在まで、「企業と人」に関する経営課題をテーマに、積極的な取り組みを行ってまいりました。また、経営者相互の啓発と情報交換の場としても幅広く活用されてまいりました。現在の企業環境は、グローバル化、人口減少・少子高齢化、人材不足・人材の多様化など、激しい変化の中にあります。このような環境変化に対応し、経営者の皆様に有益な情報や研究成果を提供することで、会員企業の発展と地域の活性化に貢献してまいります。

2024年も富山県経営者協会は、企業経営や人事制度などの研究を継続し、その成果を広く情報発信していくことで、皆様のビジネス環境の向上に貢献してまいります。更なる成功と成長を目指し、協会としての活動を一層充実させていく所存でございます。

先行きが見通し難い状況ではありますが、昨年は多くのスポーツや文化の分野で素晴らしい成果がありました。これらは私たちに勇気と活力を与えてくれました。今年もさらなる明るい話題で溢れ、世界平和と穏やかな日常が戻ることを心から願っています。また、景気の力強い回復と確かな経済成長を期待しています。

本年もより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

(株式会社トヨックス 代表取締役社長)



副会長
谷川 正人



副会長
品川 祐一郎

新年、明けましておめでとうございます。

昨年、日本の明るい話題として、WBCの優勝、大谷翔平の大活躍・MVP獲得、藤井聰太の全八冠制覇などがあげられます。その輝かしい栄冠とここに至る彼らの並外れた努力、人間力に感動と元気をもらい、日本人として誇らしくも感じました。

現状は今なお企業を取り巻く環境は厳しく、コロナの終息に伴い人流や経済活動の正常化が進む中、経済回復基調に水を差すかのように、新たな紛争も勃発し国際情勢が一段と不安定化しました。人手不足の深刻化に加え、原油価格・原材料の高騰やさらなる規制強化などが今後の世界経済の停滞・減速リスクにもなっています。

このような不確実で変化の激しい時代が続く中、様々な社会課題解決や顧客ニーズを的確に捉えた価値創出の取り組みを加速させ、エンゲージメント向上も図りつつ、企業の競争力・魅力を高めていくことが求められています。

本年も引き続き、当協会としても会員企業の皆様のご協力をいただき、各企業の経営課題解決、現場力強化、人材育成につながる事業活動を推進してまいります。

結びに、皆様にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい一年となりますようご祈念申し上げます。(コーチ株式会社 取締役会長)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年はコロナ禍が終焉を迎える一方で、物価上昇や人手不足など、私たち経済界を取り巻く環境は大きな変貌を遂げることとなり、各業種毎に様々な対応を迫られる一年となりました。

また今年も基本的に諸課題は継続する中で、国際情勢や国内政治の状況も見据えながら、将来に向けて難しい舵取りが求められる一年になりそうです。夏にはパリオリンピックの開催を控え、内需の拡大やインバウンドの回復など明るい見通しもある一方で、金利の上昇によるインフレ懸念や円安、賃金の上昇圧力など、企業業績に与える影響は業種毎に多方面から解析する必要があると考えられます。

特に今年は、富山県経営者協会においては「人的資本経営による企業価値向上」が重要な取組みテーマとなり、国際的にも日本が低いとされる従業員のエンゲージメント向上に、業種を超えて取り組まなければならない一年になると思われます。私の所属する当協会の教育委員会においても、一年を通した取組みテーマとしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本年の協会会員各位のご健勝とご多幸（ウェルビーイング）を、心よりご祈念申し上げます。

(トヨタモビリティ富山株式会社 代表取締役社長)

新年のご挨拶



副会長
原 英明



副会長
大門 睿幸

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新春を迎えたこととお慶び申し上げます。

新年にあたり、改めて昨年を振り返りますと、終結が見通せないロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのカザ地区侵攻など不安定な国際情勢が続く中、エネルギーコストの高止まりや物価の上昇などが、日本の経済活動に大きな影響を与えた1年でした。

一方、昨年5月に新型コロナウイルスの感染症分類が5類へ移行されたことに伴い、私たちの生活もようやく日常を取り戻しつつありますが、基本的な感染予防対策は気を緩めることなく、今年も継続をお願いいたします。

少子高齢化や労働人口の減少が加速化する日本の社会において、やはり最後は「企業は人なり」です。人を企業の資本として捉え、人材の育成はもとより働く人の健康安全や多様性、エンゲージメント向上の活動に取り組み、会員企業の発展へとつなげていけるよう今年1年、皆様と共に進めていきたいと思います。

最後に、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念するとともに、これまでと変わらぬご支援とご協力をお願いし、新年のあいさつとさせていただきます。（株式会社不二越 取締役常務執行役員）

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は世界的な新型コロナウイルス感染症による影響が一定の落ち着きを見せたものの、ロシア・ウクライナ戦争や中東情勢の緊迫化など、世界を取り巻く環境がますます混迷を深める年となり、その影響を受け、わが国においても、資源価格の高騰や円安に伴う物価上昇が進みました。

「失われた30年」という言葉があるほどの長きにわたり低成長やデフレを経験し、賃金や物価が上がりにくいことを前提とした慣行や考え方が定着してきた日本で、昨今の物価上昇が、今後、賃金と物価の好循環につながっていくか注視していくことが重要であると考えています。

さて、富山県に話題を転じますと、今年は北陸新幹線が敦賀まで延伸となり、また、黒部ダムと黒部峡谷鉄道・欅平駅を結ぶ「黒部宇奈月キャニオンルート」の運行も開始されます。こうした富山県を取り巻く明るい話題が増え、人流・物流の活性化と速達化が進み、ひいては富山県経済の発展につながることを期待しています。

結びに、会員企業の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念して、年頭のご挨拶といたします。

（伏木海陸運送株式会社 代表取締役社長）

2024年 新春アンケート

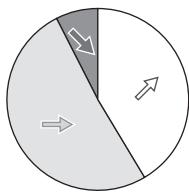
当協会では、理事、監事および幹事を対象に「新春アンケート」を行い、「2024年の日本の景気見通し・日経平均株価・対ドル円相場・原油価格（ドバイ原油）予想」と、北陸新幹線の延伸区間（金沢～敦賀）開業日が2024年3月16日に決定し、東京から福井県まで乗り換えなしでアクセスできるようになることから、「2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待すること」について尋ねた。82人から回答があった。各回答は10～17ページに掲載する。

質問内容と集計結果

1 日本の景気予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 良くなる 41.5 %
- ➡ 横這い 51.2 %
- ↘ 悪くなる 7.3 %



景気見通しについて、

70字以内でご記述ください。

参考:民間エコノミスト35人平均の予測

(2023年10月11日(公社)日本経済研究センター)

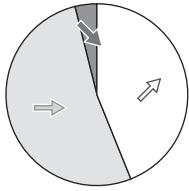
- ① 2023年7月～9月のGDP予測 : -0.48 %
- ② 2023年度GDP予測 : 1.76 %
- ③ 2024年度GDP予測 : 0.93 %

2 日経平均株価（225種・東証）予想

(現在と1年後との比較において)

参考:2023年11月2日終値:31,949.89円

- ↗ 上昇する 43.9 %
- ➡ 同程度 52.4 %
- ↘ 下降する 3.7 %

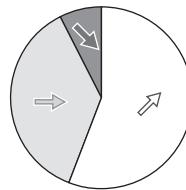


3 対ドル円相場予想

(現在と1年後との比較において)

参考:2023年11月2日(東京17時):150.38円

- ↗ 円高となる 56.1 %
- ➡ 同程度 36.6 %
- ↘ 円安となる 7.3 %



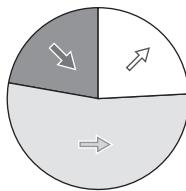
4 原油価格（ドバイ原油）予想

(現在と1年後との比較において)

参考:2023年11月2日(東京午前):86.20ドル

(1バレル 1月渡し)

- ↗ 上昇する 24.4 %
- ➡ 同程度 53.6 %
- ↘ 下降する 22.0 %



5 「2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待すること」は?

総括

「2024年の景気見通し」は、各種政策もあって、景気が引き続き持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響や、世界的な金融引き締めに伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクに十分注意する必要があるといわれている。

今回のアンケートでは、景気は良くなるとの回答が41.5%、横這いが51.2%、悪くなるが7.3%であった。「株価」では、上昇するが43.9%、同程度が52.4%、下降するが3.7%と予想。また、輸出関連産業に大きな影響を及ぼす「対ドル円相場」は、円高が56.1%、同程度が36.6%、円安が7.3%と予想。製造コストや、電気・ガス等公共関連料金、原材料価格に影響をおよぼす「原油価格」は、上昇するが24.4%、同程度が53.6%、下降するが22.0%であった。

「2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待すること」については、観光やビジネス利用が増えることによる経済効果に期待という意見が多くみられた。また、北陸三県のつながりや知名度アップ、地域経済回復、地域活性化などの意見も多くみられ、北陸三県が元気になることを期待していることがうかがえた。



新春アンケート 回答一覧

回 答 者	2024年の日本の景気見通し	景気予想	日経平均株価	円相場	原油価格
	2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待することは？				
石崎 大善 株式会社アイザック 代表取締役社長	賃上げの加速や財政、金融政策により緩やかな景気回復が期待できるものの、2024年問題に伴う人件費増や物流費増に代表される物価高に弱含みのリスク	↗	⇒	↗	↘
	関西方面への移動時間の短縮と、富山県の関係人口増加				
松村 篤樹 あおぞら経営税理士法人 代表社員	米中対立、地域紛争はあるが、各国は経済重視の方向にいく。国内では、賃上げの実績が浸透し、消費も次第に回復することにより国内景気は良くなろう。	↗	↗	↗	⇒
	個人的ですが、福井県嶺南地区への旅行を楽しみたい。				
朝日 重紀 朝日印刷株式会社 代表取締役社長	景気は緩やかな回復が続くと思いたいが、人件費や物流コストの増加が続き、海外経済減速などのマイナス材料が加わり、景気回復テンポが鈍ると思う。	⇒	↗	↗	⇒
	北陸三県が連携して魅力を発信することで経済が活性化すると良い。				
池田 和男 アルビス株式会社 代表取締役社長	エネルギー価格の落ち着きや物価高騰トレンドの鈍化と賃金上昇による個人消費の回復による景気回復を期待したい。	↗	↗	↗	⇒
	富山より関西方面へのアクセスが向上し人流が活発化する				
池田嘉津弘 株式会社池田模範堂 代表取締役社長	ウクライナ情勢の長期化、中国景気の減速などの不安要因が長引きそうなので、日本全体では横ばいと見てています。	⇒	⇒	↘	↗
	富山と福井の経済交流の活発化。				
北岡 隆之 株式会社インテック 代表取締役社長	景気回復は緩やかに続くも、コロナ禍明け後の需要回復が一巡する中で、物価高や海外経済減速、人手不足による供給制約などの下振れ懸念あり。	⇒	⇒	↗	↘
	移動時間の短縮によって北陸エリアが活性化し経済効果が出ること。				
金森勇四郎 株式会社カナモリ 代表取締役社長	戦争の長期化・自然環境の変化により原材料の高騰で物価高になり消費の低迷が懸念される。尚一層の雇用情勢の改善・賃金の見直しが必要な2024年。	⇒	⇒	⇒	↗
	沢山の人達が北陸新幹線を利用して頂く事によって全線開業を願う				
金森 米男 金森産業株式会社 代表取締役会長	給料が上がり値上げが行きわたると景気は良くなる。	↗	↗	↗	↘
	観光客が増える。				
須谷 浩史 関西電力株式会社 北陸支社 理事 支社長	景気回復基調は維持される一方、サービス物価上昇に賃金回復が追いつかず、個人消費等の内需は減速するリスク。米国大統領選の結果にも注視が必要か。	⇒	⇒	↗	↗
	北陸三県における交流人口の増加				
蒲地 誠 株式会社北日本新聞社 代表取締役社長	賃上げがある程度進むことで、個人消費の回復が続くとみている。DXの進展や人手不足への対応で、設備投資も拡大していくのではないか。	↗	↗	↗	⇒
	北陸に注目が集まることで富山が活性化するよう期待している。				
島谷 浩司 北日本放送株式会社 代表取締役社長	物価高の影響が個人消費を抑制し、海外経済の減速が加速すれば、長期的な景気低迷につながることも想定される。	⇒	⇒	⇒	⇒
	北陸地区への観光客が増加し、富山の経済にも好影響を及ぼせばいい				



回答者	2024年の日本の景気見通し	景気予想	日経平均株価	円相場	原油価格
	2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待することは？				
北村 耕作 キタムラ機械株式会社 代表取締役専務	今年は海外経済の減速から輸出が鈍化する一方、インバウンド消費が一服し、賃上げ効果はあるものの物価高から国内景気の拡大も限定的だろう。 北陸三県一体として全国世界からの注目が増すことを期待している。	↓	→	↗	→
三吉 勇人 協和ファーマケミカル株式会社 代表取締役社長	依然として物価高は続いているものの、インバウンド需要増加に加え、外出が増えて個人消費が増えるなど、サービス業を中心に持ち直すと考える。 富山、石川、福井の3県連携による、観光や経済の活性化	↗	→	→	↙
塩井 保彦 株式会社廣貫堂 取締役会長	回復基調ながらペースダウン。内需のペントアップ需要も一巡、海外景気の減速から輸出も伸び悩むと予想。 「はるか」の敦賀接続による関空へのアクセラ良化。	→	→	↗	↗
谷川 正人 コーセル株式会社 取締役会長	景気回復の動きは継続。今後再びプラス成長に復帰する期待あり。ただし、物価動向とともに、春闊での賃上げの状況がカギを握る。 首都圏、関西圏からの北陸への観光客、ビジネス客の増加。	↗	↗	→	→
西能 淳 特定医療法人財団五省会 理事長	大きく上向く環境は期待しづらいが、ゆるやかな回復基調が続く、と願いたい。 ぽつと空いた休日に水島観光に出かけてみたい。	→	↗	↗	↙
高橋 正明 コマツNTC株式会社 代表取締役社長 兼 CEO	自動車の100年に1度の大変革期を迎える危機と捉える会社があれば、チャンスと捉える会社もあり、景気には良し悪しの両局面が介在すると予想する。 ヒトの行き来が活発になって、北陸3県が元気になること	→	→	→	→
林 譲二 株式会社小松製作所 氷見工場 工場長	ウィズコロナと円安の影響でインバウンド観光需要は継続。一方、金利高止まりで投資延期や各地紛争がマイナス影響し全体としては横ばい又は悪化と予想。 関東・関西からの距離感が縮まり北陸への人の往来が加速すること	→	→	→	→
橋本 淳 サクラパックス株式会社 代表取締役社長	円安長期化で海外展開企業の業績好調が続く一方、物価上昇が続き賃上げとインバウンド回復あっても個人消費の腰折れリスク大で内需型産業は低調なまま 富山の観光資源に対する関西圏での認知度向上	→	↗	↗	↙
川島 康広 佐藤工業株式会社 北陸支店 常務執行役員支店長	ウクライナ情勢等もあるが、製造業の調整局面も落ちつき、内外需とも持ち直すと見込まれ、合わせて個人消費も緩やかに伸びると思われる。 人の往来増加による経済活動の活性化を期待します。	↗	↗	→	→
山下 清胤 三協立山株式会社 相談役	来年の前半は欧州や米国での景気減速による影響が懸念されるが、国内の堅調な個人消費を背景とした緩やかな回復基調の継続に期待している。 関西圏との物理的、心理的な距離感短縮による交流人口の増加	↗	↗	↗	→
大島 健二 JFEミネラル株式会社 代表取締役副社長	中国の景気改善の糸口が見えない事、中東の政情不安定によるエネルギー価格高騰の懸念により現状横ばいと考える 敦賀までしかのびないため期待することはない	→	↖	↗	↗



新春アンケート 回答一覧

回 答 者	2024年の日本の景気見通し	景気予想	日経平均株価	円相場	原油価格
	2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待することは？				
宮本 昭仁 株式会社シキノハイテック 代表取締役社長	コロナ禍からの回復による押上げ効果は一巡するが、名目賃金の上昇、企業の前向きな設備投資意欲、海外経済の回復が相まって、緩やかな景気回復基調。 早期の更なる延伸	↗	↗	↗	↘
眞岩 謙二 新日本海重工業株式会社 代表取締役社長	供給制約の緩和やインバウンド消費の堅調もあるが、米国・中国経済の減速感や不安定な国際情勢もあり、大幅には回復しない。 利便性の向上による北陸を結節点とした地域間交流の拡大	↗	↗	⇒	⇒
杉野 良暁 株式会社スギノマシン 代表取締役社長	ウクライナ、中東情勢の影響を懸念、中国の景気低迷も長期化するなど好材料は少ないが、脱炭素投資は加速。業界によって好不調が分かれる。 ビジネス、観光両面で北陸と関西・中京の往来が活発化すること。	⇒	⇒	⇒	↗
坂田 雅彦 第一薬品工業株式会社 代表取締役社長	中国経済の低迷、海外経済の減速により、輸出の鈍化が懸念される。コロナ明けの需要回復は一巡され、景気の回復ペースは緩やかなものとなる。 インバウンド需要により、北陸地区の地域経済活性化を期待する。	⇒	↗	⇒	⇒
大津賀保信 ダイト株式会社 代表取締役社長	コロナ終息に伴う経済活動の正常化、円安による輸出産業の利益増から企業経営状況は上向く。価格転嫁許容と雇用者給与への反映により景気は良くなる。 移動時間の短縮によるビジネス活動の活発化。	↗	⇒	⇒	⇒
中崎 俊也 株式会社大和 富山店 取締役店長	諸物価の高騰（光熱費含む）が、高値安定となり、消費に引き続き影響が出る。 福井からの誘客（観光、ショッピング、ビジネス）	⇒	⇒	↗	⇒
渡辺 守人 高岡交通株式会社 代表取締役社長	海外景気は減速、輸出の鈍化が続き、国内景気は物価高が個人消費に悪影響をもたらしたまま、緩やかな円高対策で危機を避けたい。 関西圏・関東圏からの交流人口の増加による北陸エリアの活性化	↗	⇒	⇒	↘
永岩 聰 高岡信用金庫 理事長	中国等海外景気の下振れが景気の下押しリスクとなる懸念もあるが、所得環境が改善されていくなかで国内景気は持ち直していくものと思われる。	↗	↗	↗	⇒
八十島清吉 株式会社タカギセイコー 取締役相談役	金融の引き締めが経済に与える影響に懸念はあるものの、物価の上昇も一段落し企業業績と個人消費のもち直しによる景気回復に期待 1日も早い全線開業による北陸経済の更なる発展	↗	⇒	↗	⇒
武内 繁和 武内プレス工業株式会社 代表取締役社長	コロナ禍からの景気回復は年内で一巡し、内需は横這いで推移する。円安も持続し、追い風を受けられる企業と、逆風となる企業との二極化が進むだろう。 北陸三県及び関西方面との交流促進による経済の活性化。	⇒	⇒	↗	⇒
水口 勝史 立山科学株式会社 代表取締役社長	中国経済の低迷とアメリカ経済の減速により景気は後退局面に移行すると共に、物価高による個人消費の低迷により全体として景気は悪化すると考えらえる。 北陸三県の産業と人流の活性化	↖	⇒	↖	↗



回答者	2024年の日本の景気見通し	景気予想	日経平均株価	円相場	原油価格
	2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待することは？				
見角 要 立山黒部貫光株式会社 代表取締役社長	コロナ禍からの回復による押し上げ効果は弱まり、物価上昇等により個人消費・設備投資が低迷し、景気回復ペースは緩やかなものにとどまる見通し	→ ↗ ↗ ↗			
	新たな周遊ルートによるインバウンド需要拡大				
田中英一郎 田中精密工業株式会社 代表取締役 社長執行役員	消費回復効果は一部に留まり、国際情勢不安によるエネルギーコスト上昇、労働人口減少による人手不足により予断を許さない景気動向が継続する。	→ → → ↗			
	観光客増加による消費拡大				
山影 有三 株式会社チューエツ 代表取締役社長	ウクライナ・中東情勢問題等の先行きに不透明さもあり予想は難しいものの、解決することを望み、物価高騰に歯止めがかかり景気回復することを期待する	↗ ↗ ↗ ↘			
	関西方面からの観光客が増加することによる観光需要の増加				
本多 真貴 中越合金鋳工株式会社 代表取締役社長	景気としては、米中の経済情勢が注目されている中、ほぼ織り込み済みであり、大きな変化点は出にくいと考える。	→ ↘ → ↗			
	富山駅の始発、最終発時間の維持				
山野 昌道 株式会社チューリップテレビ 代表取締役社長	世界情勢は先行き不透明だが、脱コロナによるインバウンド需要の回復や個人消費の拡大により景気は緩やかに上向く。	↗ ↗ → ↘			
	関西圏から富山への来県に期待				
津根 良彦 津根精機株式会社 代表取締役社長	厳しい雇用環境、物価上昇、不安定な国際情勢等で中小企業、個人レベルで景気回復の実感は難しいと思う。	↖ ↗ ↘ ↗			
	関西方面への移動時間短縮				
小松 一成 藤堂工業株式会社 代表取締役社長	景気回復傾向にあるもペースは緩やかにて力強さに欠けるとみられ、人件費や物流コストの増加は避けられず物価上昇は収まりにくく、内需の弱さが懸念。	→ ↗ ↗ ↘			
	インバウンド需要取込による個人消費拡大				
斎藤 大助 東邦工業株式会社 代表取締役	日本は現リーダーでは、経済再生が困難なこと。中国リスクの増大、世界の多極化等から、当面は厳しい環境下の企業運営を余儀なくされるものと覚悟している。	↖ ↗ ↗ ↗			
	米原駅に乗り入れ、新幹線でのループ新線を早期に実現して欲しい。				
高田 和夫 トナミ運輸株式会社 代表取締役社長	インフレ、海外経済の減速、紛争リスクもあるが、実質所得の上昇により消費マインドの回復が見込まれることから、期待を込めて。	↗ ↗ → →			
	観光客の增收と、それに伴う経済波及効果。				
中沖 雄 株式会社富山銀行 代表取締役頭取	設備投資の堅調な増加などにより、景気は緩やかな回復が続くと思われるが、原油高、物価高などから景気回復のテンポが鈍るリスクに注意が必要。	↗ → → ↗			
	新たな観光やビジネス利用が増えることによる経済効果に期待。				
金尾 雅行 富山港湾運送株式会社 代表取締役社長	物価上昇に比して賃金のアップは余り見込めず個人消費は伸び悩む。コストパッケージング対応の価格転嫁は中小企業にとって容易ではなく景気低迷。	→ → ↘ ↗			
	大阪までの延伸の必要性が更に強く理解されることを期待する				



新春アンケート 回答一覧

回答者	2024年の日本の景気見通し	景気予想	日経平均株価	円相場	原油価格
	2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待することは？				
山地 清 富山信用金庫 理事長	コロナからの回復は期待されるが、欧米・中国経済の減速に加えて、ウクライナ、パレスチナ等の地政学的リスクもあり、横這い圏内にとどまる。 北陸3県の連携拡大、首都圏との経済交流の拡大。	⇒	⇒	⇒	⇒
須垣 純夫 富山スガキ株式会社 代表取締役会長	日米の金利差縮小が始まれば、円高移行による輸入価格の是正により、多少は内需産業にも明るさが見えるかも？ 観光産業にとっては大きな前進。	⇒	⇒	↗	↙
野村 充 株式会社富山第一銀行 代表取締役頭取	日本経済全体としては賃金と物価の好循環を取り戻す転換点。ただ海外経済の減速やペントアップ需要の一巡から成長を実感しにくい1年になると予想。 関西方面からのアクセス改善による県経済・観光への好影響	⇒	↗	⇒	↙
中田 邦彦 富山地方鉄道株式会社 代表取締役社長	コロナ後の経済活動正常化の流れとインバウンド需要の戻りはあるものの、物価高や原油価格上昇の要因により、個人消費の低調が予想される。	↙	⇒	↙	↗
安井 豊 富山中央青果株式会社 取締役	コロナ禍からの経済活動正常化の動きは続くと思われるが、物価上昇も続く中で、個人消費については貯蓄の取り崩し段階に入り、節約指向は続くだろう。 同一経済圏による相乗効果、潜在的な機会や魅力の再評価！	↗	⇒	↗	↗
中西 修 富山テレビ放送株式会社 代表取締役社長	昨年、株価が高値をつけるなど日本の企業業績は堅調。中国の景気減速といった不安材料はあるが、米大統領選挙の年は景気刺激策で日本の景気も上向く。 経済面、観光面等において、今こそ北陸3県が一体となった施策が必要	↗	↗	⇒	↗
山田 岩男 富山電気ビルディング株式会社 取締役社長	総じて回復基調をたどるとみる。賃金上昇が高い水準で維持されれば、家計の購買力、企業の価格転嫁が下支えされるだろう。 北陸地域内の交流促進と域外からの来訪による地域経済の活性化	↗	↗	⇒	↗
西田 吉宏 株式会社富山村田製作所 代表取締役社長	国際紛争による経済への影響は懸念するが、コロナ禍後の日常が戻ったことで、停滞していた消費需要が復活し、景気は回復基調となる。 関西圏からのアクセス向上が富山の産業振興に追い風となること	↗	↗	↗	⇒
中西 誠 株式会社トヨックス 代表取締役社長	内需は、サービス関連、設備インフラ、環境対策等で正常化が続いてゆきますが、外需、特に中国の先行きが不透明な為、今年同様の見通しといたします。 ビジネス・観光両面での訪問増加による経済効果の波及に期待	⇒	⇒	↗	⇒
中川 明浩 日産化学株式会社 富山工場 執行役員工場長	景気の回復ペースは緩やかなものにとどまると予想する。 経済効果・交流人口拡大・観光資源の認知度、魅力度	⇒	⇒	↗	⇒
長谷川幸伸 日本カーバイド工業株式会社 取締役常務執行役員 魚津・早月工場長	半導体等エレクトロニクス分野は回復してくるものの、円安の緩和や物価高騰で全体的には横ばいと考える。 観光需要の増加	⇒	↗	↗	⇒



回答者	2024年の日本の景気見通し	景気予想	日経平均株価	円相場	原油価格
	2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待することは？				
岡部 英敏 日本カーボン株式会社 富山工場 工場長	日銀の金融緩和により物価高はある程度抑制されるが、経済活動とのバランスや原油高は継続され、一般家庭の財布の紐は硬く辛抱の一年になる。 北陸3県の活性化で日本景気を押し上げる事を期待したい。	→	→	→	→
土屋 誠 日本海ガス株式会社 代表取締役社長	景気のマイナス要因として物価高、人手不足が挙げられる。その一方では、春闇での賃上げが昨年に続き達成できればプラス要因となる可能性もある。 首都圏・関西圏との人・物・金・情報の活性化と3県連携交流強化	→	→	→	→
山田 仁史 日本海建興株式会社 代表取締役社長	コロナ後の経済社会活動正常化効果は早い内に一巡するが、需要回復による企業利益の拡大も少しほぼ期待できる。しかし、ウクライナ、中東情勢が見通せず。 関西圏以西への移動時間短縮、北陸3県内の交流活性化。	→	→	↗	↗
新谷 智弘 日本海コンクリート工業 株式会社 代表取締役社長	製造原価の上昇によるマイナス影響が大きい中、2024年は人件費や物流コストの増加により、更に原価の上昇圧力が強くなると想定している。 北陸エリア内の交流促進と首都圏からの人・物・情報の流入	→	→	↗	→
下野 茂治 日本高周波鋼業株式会社 富山製造所 取締役専務執行役員製造所長	中国や欧米の景気悪化による需要減退が一段落する。円安は正、物価安定、需要増価、設備投資回復により景気が回復することを期待する。 東京圏から北陸への人の移動が増加し、それなりに景気が上向く。	↗	→	↗	→
小瀬 智之 日本ゼオン株式会社 高岡工場 執行役員 工場長	コロナ禍からの経済活動正常化の動きが続くことから、今後も景気は回復基調で推移するとみられるが、ペースは緩やかなものにとどまると考える。 北陸地域内の交流促進と地域経済の活性化	↗	↗	→	↗
木村 準 株式会社日本抵抗器製作所 代表取締役社長	輸入、物流、人件費コスト増により引き続き物価上昇し、実質賃金の低下で個人消費は低迷。海外景気の減速による輸出環境の悪化で国内景気回復は鈍い 新大阪までの延伸早期実現、首都圏周遊を北陸新幹線が担う	→	↗	↗	→
川合 声一 日の出屋製菓産業株式会社 代表取締役会長・社長	コロナ禍が明けて業績が回復した企業と回復できない企業の明暗がさらに明確に分かれる。人財の移動も盛んになることで明暗がさらに明確になっていく。 大阪や京都に流れていた福井の消費が石川県や富山県に還元される	→	↗	↗	↖
大門 睦幸 伏木海陸運送株式会社 代表取締役社長	海外経済・物価動向、資源価格の動向等、わが国経済を巡る不確実性は極めて高いが、社会活動正常化による内需が牽引する形で景気は緩やかな回復が続く 関西方面との人流・物流の活性化と速達化	↗	↗	→	→
原 英明 株式会社不二越 取締役常務執行役員	ウクライナ問題や中東情勢の悪化、中国市況の低迷など、海外の先行きは一部で不透明。一方で国内での自動車生産は回復し、増産基調は続く見通し。 北陸地域内の交流促進、域外からの来訪者増加による経済活性化	→	→	→	→
三善 隆広 富士フィルム富山化学株式会社 取締役 常務執行役員 生産統括本部長兼富山第一工場長	コストの価格転嫁と賃上げによりデフレからの脱却が進み、景気は穏やかに上向く。設備投資と生産性の向上が継続的な賃上げのためには必須。 関西・中京圏に加え、北陸3県内での人的・経済的交流の増大。	↗	↗	↗	→



新春アンケート 回答一覧

回 答 者	2024年の日本の景気見通し	景気予想	日経平均株価	円相場	原油価格
	2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待することは？				
山口 昌広 北酸株式会社 代表取締役社長	サービス消費はコロナ禍前水準へ回復した。紛争の長期化が心配だが、国内経済はインバウンド需要に牽引され景気回復し個人消費が伸びると期待したい。 北陸3県への移住者増加・事業拠点化。	↗	⇒	↗	↘
米屋 慎一 北星ゴム工業株式会社 代表取締役社長	業界内では脱中国化が進んでおり、生産の国内回帰が見受けられる。若干良くなると思うが慢性的な働き手不足がネックになると思われる。 関西、中京地区へのアクセス向上は良い反面、ストロー現象に拍車がかからないか心配。	⇒	⇒	↗	⇒
上願 宏幸 株式会社ホクタテ 代表取締役社長	国内景気はようやくデフレ脱却の兆しがあり、コロナ禍からの経済活動正常化の動きが続くものの中東情勢等の地政学的リスクもあり予断を許さない状況。 北陸3県全体の知名度アップ、経済活性化及びシナジー効果発揮等。	⇒	↗	↘	⇒
村上 一浩 株式会社ほくつう 富山支社 執行役員支社長	景気は緩やかに回復していますが、円安や人不足の問題は早期での解決は難しいと思われるので、物価高は続き、中身は横這い状態と予想します。 北陸地域の各県同士のつながりをよくして経済活動の向上を期待する。	⇒	↗	↗	⇒
中澤 宏 株式会社北陸銀行 代表取締役頭取	コロナ禍明けの需要回復が一巡し、景気の押し上げが緩やかになると考えられる 来訪者増加による地域経済の活性化	⇒	⇒	⇒	⇒
稻垣 晴彦 北陸コカ・コーラボトリング 株式会社 代表取締役会長	コストパッシュインフレではない真のデフレ脱却が実現すれば、好循環の波が生まれ、成長性も高まっていくのではと期待しています。 真のO N E 北陸の実現	⇒	⇒	⇒	↘
多田 守男 北陸電気工業株式会社 代表取締役社長	世界的な地政学リスクの懸念はあるもののコロナ後のサービス、インバウンド需要拡大、政府支援によるG X・D X化設備投資促進を背景とし回復を期待。 インバウンド消費、交流人口拡大により北陸地域の経済発展を期待。	↗	↗	⇒	↗
矢野 茂 北陸電気工事株式会社 顧問	物価高や中東情勢などの景気後退リスクはあるが、構造的な賃上げによる個人消費拡大、D X関連等への企業設備投資の増加を期待し、回復基調を見込む。 物流効率の向上・都市部からの交流人口増加による地域活性化。	↗	⇒	↗	⇒
大西 賢治 北陸電機製造株式会社 代表取締役社長	コロナ禍からの脱却が進み緩やかな景気回復基調が維持される一方で、物価の上昇が継続し消費の抑制や設備投資意欲の減退につながる懸念がある。 北陸が1時間圏内で結ばれ、更なる交流促進と経済活性化を期待	⇒	⇒	⇒	↗
小田 満広 北陸電力株式会社 常務執行役員	物価上昇や海外情勢不安などの懸念はあるが、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果やインバウンド回復など、景気の持ち直しが期待される。 北陸新幹線延伸による、インバウンド需要の増加	↗	⇒	↗	⇒
土肥 良治 株式会社三田商会 代表取締役	地政学的リスクによるエネルギー・原料、素材の高騰も落ちついてきている。昨年に続いての賃上ムード、チャットGTP等への半導体への設備投資に期待 北陸3県独自の特色ある観光資源の開発によるインバウンド効果	↗	↗	↗	⇒



回答者	2024年の日本の景気見通し	景気予想	日経平均株価	円相場	原油価格
	2024年3月北陸新幹線敦賀開業に期待することは？				
井上 吉明 三菱ケミカル株式会社 富山事業所 事業所長	コロナ禍明けの需要回復はあるものの、物価高騰や原油高など未だ不透明要素が大きい為、内需中心のゆるやかな成長に留まると考える	↗	↗	↗	↘
	北陸三県への経済効果				
源 和之 株式会社 源 特別顧問	値上げ環境が一巡し、一般消費にもサービスに対する物価上昇も受け入れられ、少しずつ循環し企業の設備投資も増え回復していくと思います。（期待しています。）	→	↗	↗	↗
	西日本からの日本海ルートを利用した更なる観光流入				
梅田ひろ美 株式会社ユニゾン 代表取締役会長	電気代やガス代などの高騰が続いているため、今後も企業収益への影響が長く続くと見込まれるため。	↘	↘	↗	↘
	富山駅の停車数の増加。大阪方面への大幅な時間短縮。				
渡邊 信樹 株式会社リッセル 取締役会長	インバウンドの回復、好調企業の設備投資の増加など、消費の回復傾向は継続するが、金利上昇も予想され、全体的には足踏み状態が続くと思われる。	→	↗	↗	→
	北陸三県の広域観光客誘致による地域経済回復、地場産業の底上げ				
浅野 慎一 YKK株式会社 副社長黒部事業所長	コロナ禍からのリバウンド需要及び市場在庫の調整も落ちつき、個人消費、設備投資、インバウンド需要が増加し景気は緩やかに回復すると思われます。	↗	→	↗	→
	開業により北陸地域への人流が活発になり経済効果を期待します。				



「富山経協」vol.879

2024年(令和6年)1月号
2024年1月1日発行

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0856 富山市牛島新町5番5号 (タワー111ビル 1階)
TEL (076) 441-9588 FAX (076) 441-9952
ホームページ <https://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp